学校番号	1009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「NEXT　数学Ｃ」　（数研出版）						
副教材等	「クリアー　数学Ｃ」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　数学は正しい論理の積み重ねです。定義を正しく理解しましょう。
・　問題の解答は、ただ覚えたりそれを真似して似た問題を解いたりするだけでなく、解答で重要なことは何なのかという本質をしっかり理解して身につけるようにしましょう。
・「何を理解して何を理解できていないか」を確認しながら学習しましょう。また、１つのことを学んだ後、それを振り返って考えるようにしましょう。

２　学習の到達目標

・　各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的に表現する技能を身につける。
・　事象を論理的に解釈したり表現することで、数学的に問題解決を行ったり、その過程・結果を振り返り、統合的に考察する力を養う。
・　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル、複素平面、2 次曲線、媒介変数表示、極座標、データの表現についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	平面ベクトルの性質と位置ベクトルについて論理的に考察する力，複素数平面や極形式の性質を論理的に考察したりする力，ド・モアブルの定理に着目し，複素数を図形的に考察する力，放物線や楕円などの 2 次曲線について数学的に考察したり，極座標と直交座標の違いに着目し 2 次曲線の表現方法について考察する力、データや行列を用いて問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ベクトルとその演算	・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積	a:ベクトルの演算について図示すること、ベクトルの成分表示、内積の計算ができる b:ベクトルの内積について理解を深め、問題へ応用できる c:ベクトルの２つの表現方法について深く理解し、比較、考察ができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	ベクトルと平面図形	・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる表示	a:位置ベクトルの基本性質について理解し、様々な点を位置ベクトルで表すことができる b:位置ベクトルの性質を用いて図形問題へ応用できる c:図形の問題に対して、ベクトルでの解法だけではなく複数の解法ができることに着目し、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	空間のベクトル	・空間の点 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形	a:空間の点、ベクトルについての概念を理解することができる b:空間のベクトルについて、図形問題へ応用できる c:座標空間における図形についての表現方法を理解し、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
2学期	複素数平面	・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形	a:複素数平面の表現方法について理解し、図示ができる b:複素数の極形式、ド・モアブルの定理について理解し、問題へ応用することができる c:図形について複素数で表すことができることを理解し、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題

	2次曲線	・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線	a:2次曲線の方程式について理解し、方程式が立てられる b:2次曲線の性質や平行移動について理解し問題へ応用することができる c:円錐曲線について理解を深め、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
3学期	媒介変数表示と極座標	・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータの利用	a:曲線の方程式と媒介変数表示について理解し、与えられた2次曲線の媒介変数表示ができる b:極方程式について理解し、問題へ応用することができる c:様々な曲線についてコンピュータを利用して表現できることを理解し、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	数学的な表現の工夫	・データの表現方法の工夫 ・行列による表現 ・離散グラフによる表現 ・離散グラフと行列の対応	a:行列について理解し、和、差、実数倍、積の計算ができる b:データについて様々な表現方法があることを理解し、最適な図で表現し発表することができる c:離散グラフについて理解し、行列と対応することに着目し、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度